



▲初めての稲刈りに少し苦戦



▲収穫の喜びを実感



▲上手に刈れるかな



▲収穫した稲と記念写真



▲おいしいお米早く食べたいな



▲農家の皆さんに感謝を述べる様子

実りの秋到来

芝山小学校稲刈り

9月15日、芝山小学校5年生による「稲刈り」が実施されました。これまで、総合的な学習の一環として米づくりについて勉強してきた子どもたち。5月の田植え以降ずっと楽しみにしていた稲刈りの日を迎え、ワクワクした様子で田んぼに向かいました。

田んぼでは、農家の皆さんに教わったとおり一生懸命稲を刈り、稲刈りの大変さを実感。「これからは、お米一粒一粒を大切に残さず食べようと思います」と感想を述べました。

いざという時に備えて

火災訓練・シェイクアウト訓練

8月31日、第二保育所において「火災訓練」が実施されました。「火事だ」という声を聞くと、煙を吸わないよう瞬時に手やハンカチで鼻と口を覆った子どもたち。その後も先生の指示に従ってしっかりと避難することができました。

9月1日に実施された「シェイクアウト訓練」には、役場等の行政機関や町内の企業など、21団体1,000人以上が参加しました。参加者の皆さんは、地震発生を想定した避難訓練を行うとともに、災害発生時の行動を確認しました。



▲火災訓練の様子



▲芝山分署で行われたシェイクアウト訓練



▲収穫した籾を排出



▲稲刈りの様子

おいしいお米ができました

町内各所の稲刈り

たくさんの栄養を溜め込んだ稲穂が、黄金色に輝いた8月下旬～9月にかけて、町内各所で「稲刈り」が実施されました。

厳しい残暑の中、コンバインなどを使って稲の刈り取りを行い、消費者のもとへお米を出荷した農家の皆さん。

「今までたくさんの愛情を込めて育てました」「たくさんの人たちに、芝山町産のおいしいお米を食べてもらえたら嬉しい」と自信たっぷりの笑顔で話されました。



▲講壇に立つ明石氏

社会教育の充実と発展を目指して 子ども会育成協議会指導者・育成者講習会

9月3日、福祉センターで実施された町子ども会主催の「指導者・育成者講習会」。当日は、文部科学省中央教育審議員の明石要一氏による講演が行われ、町長、議会議員、各教育機関の委員などが参加して社会教育の観点から「子ども会活動の可能性」をテーマとして子ども会活動の発展と地域リーダーの重要性について学びました。

町子ども会の今関美恵子会長は「子どもに関わる機関が一堂に会し、共に学べる機会を得たことは大変意義深い」と感想を述べられました。

交通事故に遭わないために

生き甲斐学級交通安全教室

8月31日、福祉センターにて実施された「交通安全教室」。当日は、山武警察署の警察官による講話や反射神経テスト、反射材の効果の確認、特殊なメガネによる飲酒時の体験が行われました。

また、後半には詐欺被害防止のためのビデオ鑑賞も実施され、多種多様な被害の恐ろしさを再確認した参加者の皆さん。

高齢者ドライバーの危険性や運転時の注意点、詐欺被害など、身近に起こりうるリスクについてあらためて考える機会となりました。



▲反射神経チェックの様子



▲ジャンボかるたゲット



▲丁寧に色を塗る様子



▲大人も交流を楽しみました

地区同士の交流に笑顔

小池・大台子ども会レクリエーション大会

9月11日、福祉センターにて「レクリエーション大会」が実施されました。小池地区と大台地区の子ども会合同で計画・実施されたこのイベント。初めは緊張した様子の子どもたちでしたが、自己紹介ゲームなどを通してあっという間に打ち解け、仲良く交流しました。

この日一番の盛り上がりとなったのは「ジャンボかるた」。自分たちで読み札を考え、絵を書いたオリジナルかるたを取り合う、白熱の戦いが繰り広げられました。



▲どんな絵にしようかな



▲大接戦! どっちが先!?